

(様式3)

## 自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの理念はシンプルで、誰もが望む日々のありようをしめすものとして掲げられている。また、これをより具体的に補完するものとして、職員全員で作成した「行動指針」がある。	
2	理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念に掲げられたことが生活の風土として根付いているか、行動指針が守られているかどうか日々、一瞬一瞬、管理者・職員共に確認しつつ取り組んでいる。	
3	家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ホームの入口等に理念を掲示し、来所された方の目に入るようにしている。行事の案内その他広報活動時には当ホームの理念を理解して頂けるよう取り組んでいる。	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所の方等がホームに立ち寄られた場合には是非また立ち寄っていただけるよう歓迎の態度でお迎えしている。また、ホーム主催の夏祭りでは毎年200名近くの参加を得ているので、その折には大いに交流を深めている。	
5	地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	当地域には自治会組織がないが、地元の小中学校、老人会等との交流はある。老人会主催のふれあい喫茶への参加、小学校PTAのコーラス部の方々が来所して歌をご披露下さる。また近隣のお寺主催のフェスティバルに参加させていただく等々である。	

6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>現在のところは、ホームに対するボランティアとして、地域の高齢者の方々にご活躍いただく場を提供するに留まっているが、今後はより積極的な貢献をしていきたい。(管理者は今年度認知症キャラバンメイト講習終了済)</p>		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価はグループホームケアのあり方のスタンダードを示してくれるものであり、また改善あるいは続伸すべき点を明確にしてくれるものであるとの認識のもと、全員で自己評価や改善に取り組んでいる。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>隔月で開催している運営推進会議では毎回、入居者、ご家族、地域包括支援センターの担当職員、民生委員の参加により、ホームの様々なことについての報告、意見交換、情報交換の貴重な機会を得ているが、評価についても都度、報告、ご意見を頂くなどしている。</p>		
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>区域においては小地域連絡会やグループホーム連協等の場において、また入居者様の諸手続きを通じて行き来する機会を持っている。全市的には、管理者が神戸市介護サービス協会の委員として定期的な会合に参加している。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>様々な外部研修等を通じて管理者や職員は権利擁護に関する制度の理解を深めている。</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>外部研修等において虐待防止の問題がとりあげられる機会が増えており、意識は一層向上しつつある。</p>		

4.理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には、ご本人やご家族の思いにそいながら十分な説明と理解を図っている。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情、相談の受付窓口を重要事項説明書に明記して、いつでも相談して頂けるようにしている。また、運営推進会議等においてもご意見を十分に言っていただける機会を設けている。ご意見箱も各階に設置している。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>入居者様の暮らしぶりや健康状態等については定期的には毎月1回「花のたより」というお一人お一人の写真入のお手紙をお送りし、報告している。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>重要事項説明書等に苦情・相談窓口を明記し、ご家族等に周知すると共に、ご意見箱の設置、運営推進会議への参加を含め、いつでもお聞かせいただけるようにしている。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>定期的な会議の場で、職員の意見、提案を十分に聞ける機会を設けている。また親睦会等の場で忌憚のない意見を言う機会も設けている。連絡ノート等の活用も可能である。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>状況の変化等にも柔軟に対応できるよう介護主任を中心に勤務の調整を行っている。</p>		

18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>極端な個別的関係が形成されないよう日常的に留意し、離職等の場合も可能な限り緩やかな離職となるよう配慮している。</p> <p>また、管理職や職員は、ダメージを防ぐ配慮をしている。</p>		
<b>5.人材の育成と支援</b>				
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>採用時OJT、また外部研修（認知症介護研修、市民救命士講習、地域ケア会議等々）を受講し、成果を反映させている。新たな資格の取得等については、待遇面での反映も行っている。</p>		
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>区域においてはグループホーム連絡会、小地域連絡会等、市域、県域では、各協議会等への毎回参加を通じて交流を図っている。</p>		
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>月1回職員会議を開催し、どのようなことも話せる場を作っている。時に応じて親睦会、外部との交流の機会づくりにも努めている。</p> <p>より一層ストレスが軽減される取り組みを行っていきたい。</p>		
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>運営者は定期的にまた必要に応じ、ホームに出向き、管理者や職員とコミュニケーションをとり、各自が向上心を持って働けるよう努めている。</p>		

安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>面接時に得た情報を踏まえながら、特に入居初日には、十分な対応をとって不安を解消していくよう、また求められていることが実践していけるよう努めている。</p>		
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>初回相談から入居に至るまでご家族等の不安、ニーズを良く聴いて、受けとめ、信頼関係の醸造に役立つよう努力している。</p>		
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>初回相談時のニーズを見極め、当ホームのご入居が本当にご本人にとって、あるいはご家族にとって適切かどうかも含めた対応に努めている。</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>体験入居のシステムがあり、多くの方がそれを経て、本入居に至っておられる。また、ご入居後1ヶ月程度は当然ながら、どなたも帰宅願望等顕著であるので徐々にホームでの生活に馴染んでいただけるようご家族とも協働している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日々、まさに、共に暮らし、過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、学びあい、支えあう関係を築いている。</p>		

28	<p>利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族のご理解ご協力なしには、グループホームケアは成り立たないといっても過言ではなく、当然にもホームとご家族はご本人を共に支えあう関係であるよう務めている。</p>		
29	<p>利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるよう支援している</p>	<p>これまでのご本人とご家族との関係の理解に努め、ご家族の介護負担を軽減すると共に、心理的負担をも軽減してより良い関係性が築けるよう支援している。</p>		
30	<p>利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご家族、ご親族はもとより、ご友人等との関係性が継続し、むしろこれまでよりも良い関係が形成されるよう支援に努めている。</p>		
31	<p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>入居者様同士の間関係を十分に把握し、孤立することなく、入居者様同士が交流し、かつトラブルが発生することのないようよい関係性の維持に努めている。</p>		
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>継続的なかわりを必要とする方やご家族に対しては、いつでも相談していただけるようご案内すると共に、折に触れてお便りなどしている。</p>		

## . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

## 1. 一人ひとりの把握

33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	常に思いや希望、意向の把握に努めている。		
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	入居相談時にご本人やご家族から生活歴や暮らし方等について十分お聴きし、ホームでの生活に活かせるよう把握に努めている。		
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	お一人お一人の一日の過ごされ方、心身状態、有する力、ホームでの人間関係等の現状を統合的に把握するよう努めており、介護計画にも反映するようにしている。		

## 2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し

36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	介護計画の見直しの度に、ご本人やご家族の新たな要望を踏まえて、関係職員で話し合いを行っている。定期的な会議（緊急案件がある場合はその都度）を開催している。また、連絡ノート等を活用して回覧方式で意見を出し合うなどしている。		
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	6ヶ月毎を目途に介護計画の見直しを行っている。状態の変化があれば、随時利用者ご家族、職員間で話し合い、見直しを行っている。		

38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子、ケアの実践・結果等は個別介護記録に詳細に記録すると共に、特記すべき事項については管理日誌や連絡ノート等にも記録して情報を共有、実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>入居者様やご家族の状況、要望に応じてグループホームがもつ機能を最大限に活かした支援を行う方針である。</p>		
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	<p>地域資源との協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>民生委員や警察、消防、教育機関とは平素から関係性を保っており、必要に応じて協力を得ることができる。ボランティアについては、かなりの分野でご協力いただいているが、今後ともご協力を得ていきたい。</p>		
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>入居者様やご家族様のご意向、ご要望があれば、地域包括支援センターをはじめ、他のサービスを利用するための連携体制がある。</p>		
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>運営推進会議等を通じて、ホーム、ご家族共に地域包括支援センターとの面識、コミュニケーションがあり、いつでも相談、協働できる体制にある。</p>		

43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居契約時にご本人、ご家族意向や希望を確認し、それにそって適切な受診がなされるよう支援している。</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>協力医療機関の医師、また必要に応じ、その紹介を得るなどして、診断や治療が得られるよう支援している。</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>利用者をよく知る、協力医療機関の医師、看護師等が定期的にホームに来て、全入居者の健康管理を行うと共に、職員は常に連絡を取って協働している。</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>協力医療機関である同法人の病院の理解はもとより他の病院への入院の場合も状況把握に努め、24時間にわたって医療の管理下にある必要がなくなる等の場合には早期に退院ができるよう働きかけを行っている。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>同法人の病院との連携について、医師、職員、ご家族と健康管理、急変時重度化した場合等について、日常的に検討している。</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>グループホームの役割、守備範囲が制度上揺らいでいるように思えることもあるが、当ホームとしては、その明確化と連携を強化していくことを検討している。</p>		

49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>例えば、当ホームから他の施設、医療機関等に移られる場合には、ご家族を通じ、あるいはそのご了解のもと、必要な情報交換に努めている。</p>		
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p><b>1.その人らしい暮らしの支援</b></p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>一人一人の誇り、尊厳、プライバシーを最も重要なことと捉え、損なうような言葉遣い、言葉掛けなどしないよう十分に留意している。記録等の取り扱いについても同様である。</p>		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>入居者様がご自身の思いや希望を表せるようとりつけ、積極的な発後、意思表示の少ない方の思いにそえるよう、様々な問いかけや言葉掛け等に配慮している。</p>		
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>共同生活をしていく上でのルール、極端な生活リズムの乱れは別として、できる限りお一人お一人のペースを大切にできるよう、職員は「待つこと」の重要性、難しさも認識している。</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>お一人お一人のご希望にそいながら理美容や服装選び、衣装の整理など支援している。理美容については月1回の訪問理美容サービスで対応、好みを十分聞いてもらえるよう配慮している。また、ご希望があれば他の理美容の利用など支援する準備がある。</p>		

54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>皆で楽しみながら食事ができるよう、その準備、片付けなども含み、入居者様と職員と一緒にやっている。できない方についても、心理負担がないよう配慮している。</p>		
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>入居者様が望まれる嗜好品等については、ご家族、かかりつけ医と相談の上、できる限り要望にそえるよう支援している。</p>		
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>お一人お一人の排泄パターン、習慣を把握して、トイレ誘導のタイミングをはかり、排泄の失敗が減らせるように支援している。誘導については「さりげない誘導」を心掛けている。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>一応のスケジュール決めているが、希望やその日の気分出来る限り対応して、入浴を楽しんで頂けるよう支援している。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>散歩や運動、食事作りなどを通して、生活リズムをつくれるよう支援している。特に夕刻からの過ごし方では安眠につながるよう穏やかなおしゃべりや温かい飲み物を飲んで頂く等の支援をしている。休憩については、お一人お一人の疲労の度合いに応じてリビングのソファや居室で必要十分にとっていただけるようにしている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>台所仕事や畑仕事、園芸、お得意の芸能、技術、お話など、ご本人お一人お一人が主役である場面をできるだけ増やすよう努めている。社交ダンス、コンサート、コーラス、傾聴等々楽しみごとや気晴らしの機会も増えつつある。</p>		

60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族様より、お小遣いをお預かりし、自己管理が可能な方にはしていただいている。困難な方についてはホームで財布をお預かりし、買物の都度支払って頂くなどの支援をしている。</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>事業所敷地内でも、散歩や草花との触れ合い、隣接の公園で憩う人々との触れ合い等、十分に可能であるが、買物や気分転換の為の外出等できるだけご希望にそえるよう支援している。</p>		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>ご本人やご家族からお聞きできた「行きたいところ」への訪問、外出については、ご家族共々の場合はその支援を、また職員で対応可能なものについてはできる限り実現できるよう支援しているが、おのずと限界はある。</p>		
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>ご希望により、いつでもホームの電話をご利用いただけるようにしている。また電話のご利用時には職員はできるだけ、距離をとるなどしている。</p>		
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>ご家族等の訪問には、職員は笑顔で対応し、来所しやすい雰囲気、歓迎の気持ちを充分にお伝えできている。</p>		
(4)安心と安全を支える支援				
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>全ての職員が認識しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>		

66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>玄関は夜間のみ施錠（外部からの侵入防止）で内側からは開錠できる様になっている。突然の外出等については、チャイムはアラーム等の感知機器等も利用して見守りを行っている。</p>		
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>居室、トイレ、風呂場を除いては、死角がないフロア作りがなされており、台所等からも常に様子が把握できる。また、外出に対してはチャイム等により、見守りを補完している。</p>		
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>現在は適用がないが必要に応じて、例えば包丁などを簡易施錠のできる冷蔵庫保管とするなど、ケース状況に応じて取り組みを行っている。</p>		
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>片時も目を離さない見守り、事故防止のための様々な工夫、感知機器などの設置等、出来る限りの努力をしている。</p>		
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>緊急時マニュアルがあり、全職員が確認している。また、協力医療機関にはいつでもどんな些細なことも相談できる体制がある。市民救命士講座を定期的に受講している。</p>		
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回必ず、防災訓練を職員、入居者協働で実施している。機会あるごとに地域の方々に有事の協力をお願いしている。</p>		

72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>特に契約時等に起こり得るリスクについて、ご家族等に説明し、できる限りのご理解を得るよう努めている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>食事、水分摂取量、バイタル、排泄等のチェック表とご本人の様子の観察により体調変化の早期発見とその対応に努めている。</p>		
74	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>各入居者の処方等、薬剤、早見シートをカルテにファイルし、全職員が薬の内容を把握できるようにしている。服薬管理表を作成し、注意を払っている。</p>		
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>水分摂取、排便誘導、体操や散歩等の運動などに配慮している。</p>		
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>ご自身でできる方以外は、必ず毎食後声掛けをし、また必要に応じて職員が支援して口腔ケアを行っている。</p>		
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>都度、摂取に対して拒否があっても、時間をおいたり、形を変えるなどして、一日を通じて必要量が確保できるように支援している。</p>		

78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等）</p>	<p>感染、防止マニュアルや感染症に関する情報を集めたファイルがあり、全職員が確認している。時々流行する感染症についてはその都度注意を喚起している。</p>		
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>台所、調理用具等の衛生管理には十分に配慮し、できる限り新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>		
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>建物の形状、色彩などは威圧感を与えない工夫をしており、玄関周りは特に親しみやすい雰囲気を作るため植木や花等を配置している。</p>		
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間は不快な音が光がないよう極力配慮している。フロアにも常に季節の花などを飾り工夫はしている。ただ、フロアは多目的（時にダンスホールとして、時にコンサートホールとして等）なので、ある程度のフラット感は否めない。</p>		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>皆で一緒にあるいは少し離れて座ることのできる大型のソファの配置、それとは別に一人で座っていることのできるチェア、外の景観を眺めていることのできる場所等を確保している。</p>		

83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた家具や生活用品、装飾品等持ち込まれる方も多いが入所施設から入居なさった方等は比較的その量が少ない傾向にある。ご入居後の作品なども飾って頂けるようにはしている。</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気には充分努め、空調は共用部分、居室共外気温と大きな差がないよう配慮している。</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>身体機能の低下に合わせて安全かつできるだけ自立した生活を送って頂けるよう居室、といれ、風呂場を除いては死角のないフロア作り等、できる限り努力している。</p>		
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>混乱や失敗の原因となる誤認や錯覚を引き起こす要因となるようなものは極力排除している。また、各居室、トイレには手作りのネームプレートが取り付けられ混乱を防いでいる。一部のトイレには夜間も証明をつけ、少しあけて置くなどの工夫をしている。</p>		
87	<p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>敷地は充分な広さがあり、散歩や園芸、畑仕事、屋外でのティータイム等楽しんで頂ける。</p>		

(  部分は第三者評価との共通評価項目です )

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)